

旭川のちの電話

後援会会長 交代のごあいさつ



前後援会会長

相川正志氏

話して 離し 放す

山根 寛

どうにもならない思いを話す

どうにもならないと思えても話して離す

聴いてもらう

それだけで少し ころの重荷が軽くなる

話して 離して 聴いてもらって

どうにもならない思いが放れる

話すことがどうにもならない思いを

離して 放す

尊敬する黒田一秀元後援会長、小生の地域精神衛生活動の師であった、故塚本隆三先生からのご指名で二〇〇五年より分不相応の大任をまかせられて八

年、果たして「旭川のちの電話」のためにいささかのお役に立てたか内心忸怩たるものがあります。特に二年前病で倒れ療養に専念する身となり、会のためにお役に立ち得なかったことをお詫び申し上げます。

頭書の詩は最近感銘を受けた詩の一つです。心の重荷を少しでも軽くすること、それは人と話しをすること、そのことから距離をおくこと、なによりも時が必要であることを病を得て実感しました。いのちの電話は、核家族化、少子高齢化、など様々の生きずらさを感じる現在の社会において、今後ますます重要性を増すことは必須です。

後任の荒井建設株式会社社長荒井保明氏は旭川実業界のリーダーの一人、福祉関係にもご理解があり多方面でご活躍の方です。今後、大所高所に立つての会の運営により、ますますの発展が期待されます。

旭川のちの電話、そして後援会の益々の充実、発展、活躍を祈念申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。



新後援会会長

荒井保明氏

亡き父と同期生である相川正志先生のご依頼という事で、医療従事者でもなく社会福祉事業の経験もない私がこの大役をお引き受け致すことになりました。これまでは企業経営者として商工会議所の役員など地域経済に深く関わってまいりました。また縁あって育児院施設、更生保護団体など後援会組織の役員は多少の経験がありますが「いのちの電話」の活動については全く心得がなく歴代の熱意あふれる後援会長各位の足もとにも及びませんが精一杯努めさせて頂きますので何卒宜しくお願い申し上げます。今、パソコンや携帯電話・スマートフォン急速な普及により、直接会って顔を見ながら会話をしたり電話で肉声をよく聴いて相手の感情を推し量ったりというコミュニケーションが取りにくくなってきています。スタッフの肉声による親身な心のケアが今の社会が抱えている諸問題解決の一助になれば素晴らしいと思います。皆様のご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



旭川いのちの電話を支えるために

旭川いのちの電話の運営は、主として市民のみなさまの善意による寄付金で賄われています。あなたも後援会員になってこの活動を支えて下さい。

① 維持会員 (年会費として、何口でも可)

個人会員	A会員	1万円	B会員	5千円	C会員	3千円	D会員	2千円
団体会員	E会員	10万円	F会員	5万円	G会員	3万円	H会員	1万円

② 賛助会員

任意の金額を随時寄付される方です。折にふれてご協力下さい。

振込口座 社会福祉法人 旭川いのちの電話

郵便振替口座 02870-8-6756

旭川信用金庫本店 普通 0612046

北洋銀行旭川中央支店 普通 0130882



※社会福祉法人への寄付は、税法上優遇されます。

※手数料のかからない「自動払い込み」のご利用をおすすめいたします。(詳細は事務局まで)